

工賃向上計画（令和6年度以降）

【はじめにご確認ください】

- ・工賃向上計画の作成に当たり、シート名「概要」、「分析」、「目標」の3つのシートの作成・提出は必須となります。
- ・シート名「R6作業別」、「R7作業別」、「R8作業別」の作成・提出は任意ですが、当該シートを作成することにより、工賃向上計画がより具体的になるとともに、職員間での共有に活用できるため、可能な限り作成を検討してください。

提出日	担当者名	担当者連絡先(電話番号)
令和6年 月 日	植村 卓也	090-9499-7775

1 事業所概要

法人名	株式会社 Glove Support			法人代表者名	久保 由紀子
事業所名	ゆめり			管理者名	植村 卓也
事業所住所	住所	〒	818-0104	市町村名	太宰府市
		福岡県太宰府市通古賀3-10-1水城病院1階C店舗			
	電話番号	092-710-2186		FAX番号	092-403-1584
	e-mail	yumeri.gs@gmail.com			
事業種別	就労継続支援B型事業所			定員数	20人
指定年月日	R5.3.1			事業所番号	4011400480
利用契約者数(令和6年4月1日現在)					18人
福祉活動における指導職員数					8人
事業会計に人件費を計上している職員数(サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員等)					8人
令和6年度の報酬算定区分(指定権者への届け出内容)			就労継続支援B型サービス費(Ⅰ)		
平均工賃の推移					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
工賃支払総額(円)			3,048,150		
開所日1日当たりの平均利用者数	#DIV/0!	#DIV/0!	13.5		
年間延べ利用者数(人)			3,642		
年間開所日数(日)			270		
年間開所月数(月)			12		
平均工賃月額	#DIV/0!	#DIV/0!	18,816		
事業所の特徴					
開設の経緯(動機、きっかけ等)	特別支援学校を卒業した方や就労経験の少ない方が就労訓練を通して、次なるステップへ行けるような場所を目指し、開設いたしました。				
事業所の運営方針(具体的な方針や考え方)	地域の方とのふれあいや作業が出来る事への喜びを感じていただけるよう支援します。 それぞれの個性を尊重し、安心して過ごせる環境の中で少しずつ生活技術の向上を目指します。				
利用者の状況(障がい種別、程度、年代)	精神障がい 8名 知的障がい 11名 10代 1名 20代 4名 30代 5名 40代 6名 50代 2名 60代 1名				
基本的な就労頻度	基本的には月-8日(月曜日～金曜日)※土曜日は営業カレンダーに準ずる				

※年間開所月数(例): 令和5年10月に新規開設の場合、令和5年度は6カ月(10月～3月)となる。

2 令和5年度の分析

事業者名

ゆめり

事業所番号

4011400480

作業部門	解体部門	米部門	シール部門	清掃部門	店舗部門
作業形態(ドロップダウン)	請負・受託等	自主事業	請負・受託等	施設外就労	自主事業
商品・サービス名	銅線の被覆剥き 家庭用家電製品等の 解体	米の精米、選別、計 量、梱包、販売	ドライフルーツやナツ ツの袋に商品シール を貼る	グループホームの清 掃	店舗の清掃、ショッピ ングバッグの作成
商品・サービスの特徴	・金属会社からの下 請け作業 ・工程がたくさんあり、 軽作業から高度な技 術を要する作業まで ある	・宮若市の農家より直 接仕入れ ・主は福祉施設、一般 顧客への販売	福岡市東区の業者より 材料を提供してもら い、袋に商品シール を貼り、納品している 単純作業だが、スレ やゴミの混入がない よう注意している	・グループホーム管理 会社から清掃業務の 依頼を受け作業して いる ・廊下・浴室・トイレ等 の清掃を手分けして 行っている	・系列店舗の清掃業 務・系列店舗の作品 を購入していただいた 際に使うショッピング バッグの作成を行う。 令和5年12月オー プンのテナント

(1)収益性

	収入比	収入比	収入比	収入比	収入比					
年間生産活動収入(A)	316,280	100.0%	294,050	100.0%	231,100	100.0%	252,000	100.0%	108,113	100.0%
年間生産活動支出(工賃除く)(B)	181,620	57.4%	197,462	67.2%	6,159	2.7%	2,747	1.1%	1,000	0.9%
①原材料費	56,500	17.9%	178,200	60.6%		0.0%		0.0%		0.0%
②その他経費	125,120	39.6%	19,262	6.6%	6,159	2.7%	2,747	1.1%	1,000	0.9%
工賃支払前収支(A)-(B)	134,660	42.6%	96,588	32.8%	224,941	97.3%	249,253	98.9%	107,113	99.1%
年間工賃総額(C)	920,150	290.9%	1,116,500	379.7%	543,200	235.0%	371,350	147.4%	96,950	89.7%
開所日1日当たりの平均利用者数(D)		5		5		4		3		2
①年間延べ利用者数		1,350人		1,350人		1,080人		810人		178人
②年間開所日数		270日		270日		270日		270日		89日
年間開所月数(E)		12月		12月		12月		12月		4月
月額平均工賃(C)/(D)/(E)		15,336		18,608		11,317		10,315		12,119
担当する職員数		2人		2人		1人		1人		1人
商品・サービスの課題	<p>解体物品の種類によって、解体が難しいものがあり、人を選ぶ。また、パソコンなどはガラスが割れやすく、解体作業する方が限られてくる。銅線に関しては、被覆剥き作業ができる方が増えてきている。</p> <p>米選別を希望される方が多く、少しずつだが生産量を増やしている。企業向けのお米を多く選別しているが、一般用も販売している。ただ、一般用を選別できる方は限られる。</p> <p>シール貼り用の台紙を作り、貼りやすいように工夫しているが、斜めになったり、見本通りに貼れない方が多く、少人数での作業になっている。また、業者の枚数指定もあり、なかなか多くの枚数は難しい。</p> <p>グループホームの入居者の迷惑にならないよう週1回少人数で清掃を行っている。作業内容は難しくないが、別施設での作業の為、頻度や参加人数は限られる。</p> <p>お客様に気持ちよくお買い物していただく為に、隅々まで清掃するよう心掛けています。ショッピングバッグの作成は、手順が多い物は難しく、現在は簡易的な袋を中心に作成している。</p>									

(2)将来性(4段階評価)

販路拡大が見込まれる。	○	◎	○	△	◎
生産量を増加できる。	◎	○	△	△	◎
商品力を向上できる。	◎	◎	◎	○	◎
原材料費等の経費を削減できる。	△	○	△	△	○

(3)事業の意義(4段階評価)

利用者の特性に合う。	○	◎	◎	◎	○
職業能力を向上できる。	○	○	○	○	○
地域に貢献できる。	△	○	○	◎	◎

(4)今後の方向性

拡大、維持、縮小、廃止から選択	拡大	拡大	現状維持	現状維持	拡大
-----------------	----	----	------	------	----

(留意事項)

○作業部門ごとに収入・支出を計上していない場合は、まとめて計上しても可。

○年間開所月数(例):令和5年10月に新規開設の場合、令和5年度は6カ月(10月~3月)となる。

3 目標（令和6～8年度）

事業所名	ゆめり	事業所番号	4011400480
------	-----	-------	------------

	作業部門	令和6年度(目標)	令和7年度(目標)	令和8年度(目標)
具体的方策	解体部門	・銅線の被服剥きは、出来る方が増えてきているので、納品量をもっと増やせるようにしていく。 ・機械類の解体は、人数が限られるので、現状維持とする。	・銅線の被服剥きは、バランスを見ながら、できる時に多く処理できるように人員配置していく。 ・機械類の解体は、人数が限られるので、現状維持とする。	・銅線の被服剥きは、出来る方が増えてきているので、納品量をもっと増やせるようにしていく。 ・機械類の解体は、人数が限られるので、現状維持とする。
	米部門	・企業用の販売は、決まった数量を安定して供給できるようにする。 ・一般用の販売は、まず顧客を少しずつでも増やしていけるよう宣伝する。	・企業用の販売は、安定して供給できるようになってきたので、数量を増やしていく。 ・一般用の販売は、品質を落とすことなく、今までよりも選別できる数量を増やす。	・企業用の販売は、現在の数量を安定して供給できるようにする。 ・一般用の販売は、顧客数をもっと増やせるよう数量の安定供給と宣伝に力を入れる。
	シール部門	・技術力の向上を図り、貼りなおしを少なくしていく。	・枚数を増やせるよう、技術向上を図る。	・シール貼りができる方をもっと増やし、企業と相談しながら枚数を増やしていく。
	清掃部門	清掃作業に参加したことがない方に方法・技術を教え、3～4グループが交代で行けるようなシステムを作る。	3～4グループが交代で行けるようなシステムの定着を図る。	どのグループが行っても同じように作業できるシステムを作る。
	店舗部門	・清掃業務ができる方を増やし、よりきれいに掃除できるようにする。 ・今できる方法で、より多くのショッピングバックを作成する。	・窓ふきや棚ふきなど出来る作業を増やす。 ・技術を向上させ、マチのあるショッピングバックなどバリエーションを増やす。	・買い物しやすい環境づくりの徹底を目指す。 ・作成方法を多くの方に伝授し、誰でもできる方法づくりをする。
年間生産活動収入 (A)		1,200,000 円 100.0%	1,300,000 円 100.0%	1,400,000 円 100.0%
年間生産活動支出(工賃除く)(B)		400,000 円 33.3%	420,000 円 32.3%	440,000 円 31.4%
材料費		240,000 円 20.0%	250,000 円 19.2%	260,000 円 18.6%
その他の経費		160,000 円 13.3%	170,000 円 13.1%	180,000 円 12.9%
工賃支払前収支(A)-(B)		800,000 円 66.7%	880,000 円 67.7%	960,000 円 68.6%
年間工賃総額 (C)		5,000,000 円 416.7%	5,100,000 円 392.3%	5,150,000 円 367.9%
開所日1日当たりの平均利用者数 (D)		20 人	20 人	20 人
(1)年間延べ利用者数		5380 人	5380 人	5380 人
(2)年間開所日数		269 日	269 日	269 日
年間開所月数(E)		12 月	12 月	12 月
月額平均工賃(C)/(D)/(E)		20,833 円/月	21,250 円/月	21,458 円/月

(参考)

工賃変動積立金	円	円	円
設備整備等積立金	円	円	円

(留意事項)

○令和6年度以降に新規の生産活動部門を計画している場合、新規の生産活動部門に係る具体的方策も記入してください。